

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 結果・学校関係者評価

学校評価表作成について変更した点は朱書きしています

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

学校名 唐津市立久里小学校

1 前年度 評価結果の概要
・全学級で授業研究会や校内自主研修会を実施し、授業改善に努め、学力向上を図りたい。
・児童の自己肯定感を高める取組やよりよい人間関係作りの取組の継続、地域と連携した体験活動の充実を図ってきたい。
・運動・スポーツの楽しさを味わわせながら、運動習慣を形成していく必要がある。
・年間を通して時間外在校等時間の上限を遵守する雰囲気醸成されつつある。今後も業務の見直しを適宜行い、働き方改革を推進してきたい。

2 学校教育目標
「豊かな心をもち、夢の実現に向かって、自律的に活動する久里の子の育成」
～元気・笑顔・思いやりがあふれる 学校～

3 本年度の重点目標
①授業改善 ②特別支援教育の充実推進 ③ICT活用の推進 ④「豊かな生活」の実現のための働き方 ⑤保護者・地域と連携し、信頼される学校づくりの推進

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目
重点取組
評価項目 取組内容 成果指標(数値目標) 具体的取組 中間評価(進捗度) 最終評価(達成度) 学校関係者評価(評価/意見や提言) 主な担当者

5 総合評価・次年度への展望
・学力の向上では、全学級で授業研究会を実施し、授業改善に努めた結果、マイプランの成果指標を達成した教師の割合が高くなり、授業力向上と学力向上につながった。今後も組織的に日々の授業改善に努め、学力向上を図りたい。
・心の教育では、児童の自己肯定感を高める取組やよりよい人間関係作りの取組、地域と連携した体験活動を更に充実させたい。
・健康・体づくりでは、外遊びの二極化が見られるため、運動・スポーツの楽しさを味わわせながら、運動習慣を形成していく必要がある。
・業務改善・教職員の働き方改革の推進では、年間を通して時間外在校等時間の上限を遵守する雰囲気醸成されつつある。今後も業務の見直しを適宜行い、働き方改革を推進してきたい。